

株主の皆様へ

第159期

中間報告書

2022年4月1日から
2022年9月30日まで
証券コード4613

関西ペイント株式会社

私たちは、塗料事業で培った
技術と人財を最大限に活かした
製品・サービスを通じて、
人と社会の発展を支えます。



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当期における世界経済は総じて緩やかに回復基調にあります。地政学リスクの顕在化を背景とした供給制約及び原材料価格の高騰に加えて世界的なインフレの影響もあり不確実性が大きい状況が継続しております。そのような状況下、中国においては、感染症拡大を受けたロックダウンなどにより景気は減速しました。欧州及び米国においては金融引き締めが景気を下押しするものの緩やかな持ち直しが継続しております。その他の地域においては、景気は回復基調もしくは持ち直しの動きが見られました。わが国経済は、資源価格上昇の影響などを受けつつも、新型コロナウイルス感染症抑制と経済活動の両立が進むもとの、持ち直しております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は2,507億0百万円(前年同期比23.3%増)となりました。営業利益は、原材料価格高騰の影響が継続し、売上増に伴い販売費用が増加する中で、販売価格への価格転嫁などの利益改善に取り組んだものの、157億62百万円(前年同期比6.4%減)となりました。経常利益は持分法投資利益の減少及びトルコにおける超インフレ会計適用の影響を受けた一方で、円安の影響による為替差益の増加などにより、210億41百万円(前年同期比1.3%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、政策保有株式縮減に伴う投資有価証券売却益の計上などにより123億71百万円(前年同期比7.7%増)となりました。

以上の業績から、当事業年度の中間配当金につきましては、1株につき15円とさせていただきます。

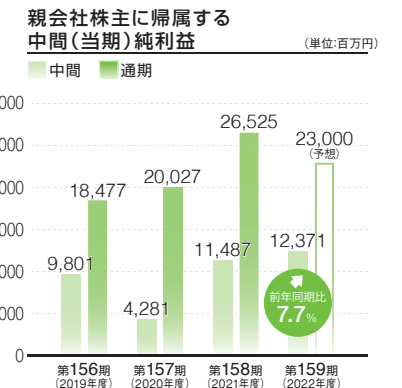
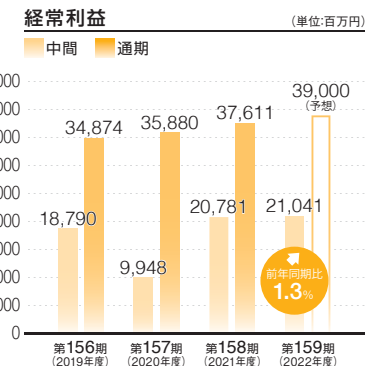
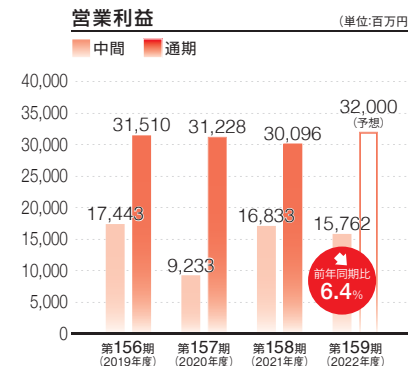
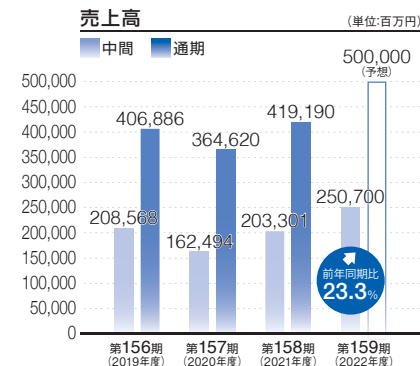
株主の皆様方におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 毛利訓士

業績の推移(連結ベース)

	第156期(2019年度)		第157期(2020年度)		第158期(2021年度)		第159期(2022年度)	
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期(予想)
売上高(百万円)	208,568	406,886	162,494	364,620	203,301	419,190	250,700	500,000
営業利益(百万円)	17,443	31,510	9,233	31,228	16,833	30,096	15,762	32,000
経常利益(百万円)	18,790	34,874	9,948	35,880	20,781	37,611	21,041	39,000
親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益(百万円)	9,801	18,477	4,281	20,027	11,487	26,525	12,371	23,000
配当単価(円/株)	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0

※第159期予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



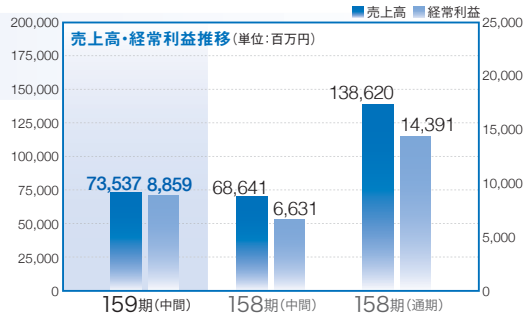
日本 Japan

29.4%
Japan

売上 **735億37百万円** (前期比7.1%増)

自動車分野では自動車生産台数が前年を上回り、売上は前年を上回りました。工業分野においては市況が低調に推移した一方で、販売価格の改善に取り組んだことなどから売上は前年を上回りました。建築分野、自動車分野(補修用)及び防食分野では、市況の本格的な回復には至らなかったものの、販売価格の改善に取り組む売上は前年を上回りました。船舶分野では、市況は回復し売上は前年を上回りました。利益は原材料価格高騰の影響を受けた一方で、為替差益の発生などにより前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は735億37百万円(前年同期比7.1%増)、経常利益は88億59百万円(前年同期比33.6%増)となりました。



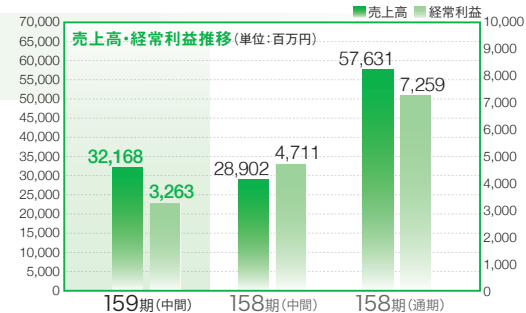
アジア Asia

12.8%
Asia

売上 **321億68百万円** (前期比11.3%増)

中国においては、自動車生産台数が前年を下回り、自動車分野での売上は前年を下回りました。工業分野では産業機械向け塗料において、主要顧客の需要が減少し、売上は前年を下回りました。これらの結果、中国全体での売上は前年を下回りました。インドネシア、タイ及びマレーシアにおいては、自動車生産台数の回復を受け、売上は前年を上回りました。一方で、利益は原材料価格高騰による影響及び持分法投資利益の減少などにより前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は321億68百万円(前年同期比11.3%増)、経常利益は32億63百万円(前年同期比30.7%減)となりました。



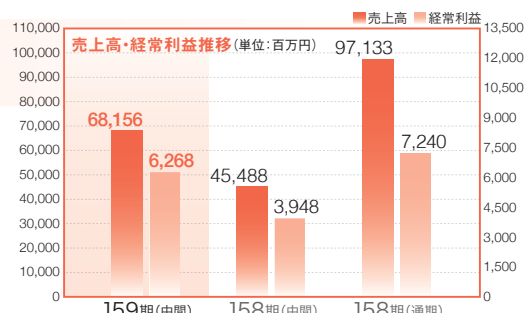
インド India

27.2%
India

売上 **681億56百万円** (前期比49.8%増)

自動車分野では自動車生産台数が前年を上回ったことに加え、建築分野と共に前年が感染症拡大を抑制するためのロックダウンの影響を受けていたこと及び販売価格の改善に取り組んだことなどから、売上、利益ともに前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は681億56百万円(前年同期比49.8%増)、経常利益は62億68百万円(前年同期比58.8%増)となりました。



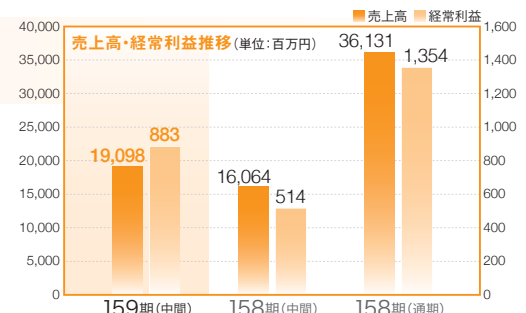
アフリカ Africa

7.6%
Africa

売上 **190億98百万円** (前期比18.9%増)

南アフリカ及び近隣諸国の経済は回復が遅れており需要が低迷する中、販売価格改善の取り組みにより南アフリカ地域の売上は伸長しました。東アフリカ地域では、建築分野において堅調な需要を取り込み売上は伸長し、アフリカ全体の売上は前年を上回りました。過年度より継続している不採算事業の整理による固定費削減に加え、感染症関連保険金の受領もあり、利益は前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は190億98百万円(前年同期比18.9%増)、経常利益は8億83百万円(前年同期比71.8%増)となりました。



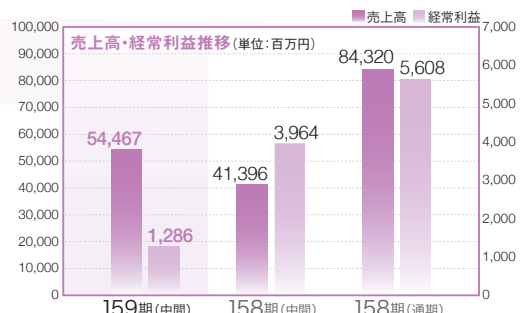
欧州 Europe

21.7%
Europe

売上 **544億67百万円** (前期比31.6%増)

トルコでは、自動車分野及び工業分野を中心に販売価格の改善に取り組む、売上は前年を上回りました。その他欧州各国においても、工業分野及び建築分野を中心に堅調な需要に支えられ売上は前年を上回り、欧州全体の売上は前年を上回りました。一方で、利益は原材料価格やエネルギーコストの高騰及びトルコにおける超インフレ会計適用の影響などにより、前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は544億67百万円(前年同期比31.6%増)、経常利益は12億86百万円(前年同期比67.6%減)となりました。



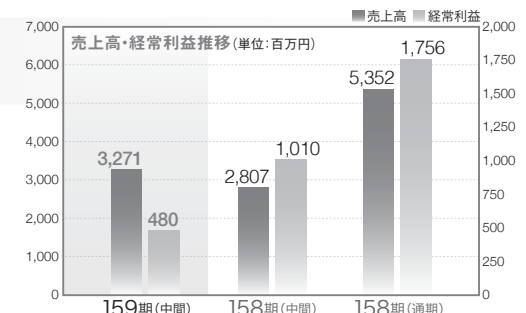
その他 Others

1.3%
Others

売上 **32億71百万円** (前期比16.5%増)

北米では、自動車生産台数は前年を上回り、売上は前年を上回りました。一方で、利益は原材料価格の高騰による影響及び持分法投資利益の減少などにより前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は32億71百万円(前年同期比16.5%増)、経常利益は4億80百万円(前年同期比52.5%減)となりました。



◆ 連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
2022年9月30日			
流動資産	308,428	流動負債	235,172
固定資産	335,688	固定負債	50,477
有形固定資産	146,697	負債合計	285,649
無形固定資産	52,070	純資産の部	
投資その他の資産	136,921	純資産合計	358,467
資産合計	644,117	負債・純資産合計	644,117

(備考)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

2022年4月1日から2022年9月30日まで	
売上高	250,700
営業利益	15,762
経常利益	21,041
税金等調整前四半期純利益	23,665
四半期純利益	14,615
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,371

(備考)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

2022年4月1日から2022年9月30日まで	
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,444
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,386
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 26,832
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,994
現金及び現金同等物の増減額	△ 9,006
現金及び現金同等物の期首残高	59,709
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,702

(備考)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

創 立	1918年5月17日
資 本 金	25,658百万円
主 要 な 事業内容	塗料及び塗料関連製品とこれらに関する 機器装置類の製造、販売、設計及び塗装の監理等
従業員数	1,568名 (従業員数は就業人員であり、当社外 への出向者を含んでおりません。)

主要な事業所

本 店	兵庫県尼崎市神崎町33番1号 TEL(06)6499-4861
本社事務所	大阪府大阪市中央区今橋二丁目6番14号 TEL(06)6203-5531
事 業 所	鹿沼、東京、平塚、名古屋、尼崎、小野、北九州
開発センター	平塚

役員及び執行役員 (2022年9月30日現在)

取締役		取締役 (社外取締役)	
代表取締役社長	毛利 訓士	吉川 恵治	
代表取締役副社長執行役員	高原 茂季	安藤 知子	
代表取締役 専務執行役員	古川 秀範	ジョンP. ダーキン	
取締役 常務執行役員	寺岡 直人		
取締役 常務執行役員	西林 均		
執行役員		執行役員	
常務執行役員	田桐 澤根	高多 洋一	
常務執行役員	富田 和昌	高田 秀雄	
執行役員	徳 清秀	殿村 浩規	
執行役員	梶間 淳一	富岡 崇	
執行役員	荒木 努		
監査役		監査役 (社外監査役)	
常 勤 監 査 役	吉田 一博	コリン P.A. ジョーンズ	
常 勤 監 査 役	長谷部 秀士	山本 徳男	

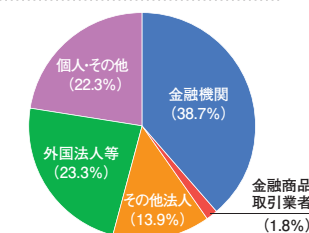
株式の状況

発行可能株式総数
793,496,000株

発行済株式の総数
272,623,270株

株主数
12,550名

所有者別株式分布状況

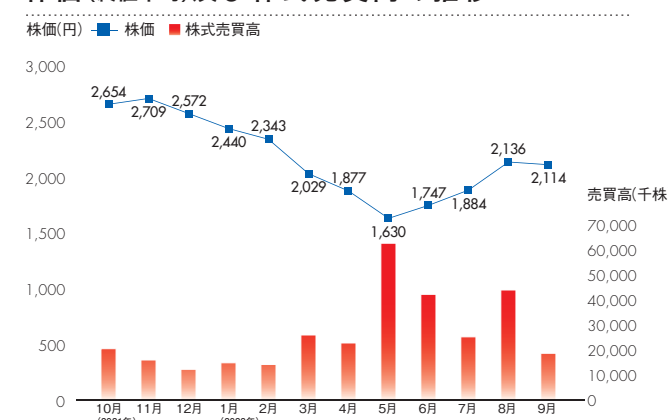


大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	42,686	18.24
日本生命保険相互会社	12,490	5.33
第一生命保険株式会社	12,485	5.33
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	10,515	4.49
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	9,690	4.14
トヨタ自動車株式会社	8,355	3.57
大同生命保険株式会社	7,607	3.25
関西ペイント交友持株会	5,088	2.17
三菱UFJ信託銀行株式会社	4,314	1.84
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	4,236	1.81

(注)1.持株数は千株未満を切り捨てて記載しております。
2.持株比率は、自己株式(38,642,901株)を控除して算出しております。
3.当社は自己株式38,642,901株を保有していますが、上記大株主からは除いています。

株価(終値平均)及び株式売買高の推移



(注)株価及び株式売買高は、東京証券取引所におけるものです。

株 主 メ モ

会社法改正による株主総会資料の電子提供制度について

2022年9月1日に施行された改正会社法により、2023年3月以降に開催される株主総会から「株主総会資料の電子提供制度」が適用開始されます。そのため、2023年6月開催予定の弊社株主総会におきましても、株主の皆様へ送付させていただく書類は、「株主総会資料の一部及び、株主総会資料を掲載したウェブサイトのURLを記載したご通知」に変更することとなります。

インターネットで閲覧することが困難であるなどの事情により、株主総会資料を書面にて受領することをご希望される株主様は、株主総会の基準日である3月末日までに「書面交付請求」を行っていただくことでお受け取りいただけます。「書面交付請求」をご希望される株主様は、口座のある証券会社等、または以下の株主名簿管理人までご請求お願いいたします。

株主総会資料の電子提供制度に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 電子提供制度専用ダイヤル
証券代行部 0120-696-505 (受付時間:土・日・祝日を除く平日9:00~17:00)

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 0120-094-777 (通話料無料) 平日9:00~17:00 (土・日・祝日等を除く)
公 告 方 法	電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL (https://www.kansai.co.jp/)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 プライム市場

ご 注 意

- 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、株主様の口座のある証券会社等にお問合せください。なお、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問合せください。
- 未受領の配当金のお支払につきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いたします。

— 中間配当金のお支払について —

第159期中間配当金は2022年12月2日からお支払いたしますので、同封の「中間配当金領収証」により、最寄のゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。また、銀行口座へ振込ご指定の方には、「中間配当金計算書」及び「配当金振込先ご確認のご案内」を同封いたしましたので、お確かめください。

統合報告書を発行しております。当社の持続可能な価値創造に向けた方針と取り組みについてご覧いただけます。下記URLをご覧ください。
<https://www.kansai.co.jp/sustainability/>